

上部消化管内視鏡検査(経口・経鼻)同意書

1. 上部消化管内視鏡検査について

- この検査は、口または鼻から内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸を観察し、病変(炎症・潰瘍・ポリープ・がん・静脈瘤など)がないかを調べる検査です。
- 必要に応じて、色素を撒布したり、組織を採取(生検)して顕微鏡で調べます。
- 抗血小板薬(アスピリンなど)、抗凝固薬(ワーファリン、イグザレルトなど)を内服されている方は、薬の内容を確認する必要があります。
- 状況によっては観察のみの検査になる場合があります。

2. 偶発症について

検査に伴う偶発症は次のような報告があります。

- 全国集計(2000年)で、検査全体として、頻度は0.007%、死亡0.00045%、穿孔0.0018%、出血0.0015%の報告があります。
- 検査前に使う麻酔や前処置により、稀に発疹、嘔気などの症状があります。また、極まれにショックなどの重篤な症状があります。アレルギーのある方はお知らせ下さい。(色素散布などで胸やけなどの刺激症状、アレルギー発作、検査前の基礎疾患の悪化など)

経鼻内視鏡の場合

- 鼻出血(検査中、検査後に10~20%ぐらいの頻度)があります。ほとんどの場合、圧迫にて止血しますが、稀に出血が止まらない場合は、耳鼻科にて止血を要する場合があります。
- ワーファリンなどの抗凝固薬を内服中の方は経鼻では行いません。
- 鼻痛(内視鏡通過後は通常は気にならなくなりますが、稀に数日続く事があります)

ふしたにクリニック 院長 伏谷俊朗

私は以上の内容について十分理解した上で、上部消化管内視鏡検査を受ける事に同意します。

西暦 年 月 日

未成年の方・自署出来ない方

生年月日：西暦 年 月 日

代理人氏名 印

氏名 印

(患者様との関係)